

令和5年度第2回学校関係者評価委員会報告 (及び信頼される学校づくりのための委員会)

1 開催日時

令和5年12月1日(金) 15:30~16:15

2 場所

本校会議室

3 参加者

児玉晃一(PTA会長) 高田政雄(同窓会会長)
飯伏志穂子(元PTA副会長) 辰野正寿(川辺町スタンプ会会長)
久木田 智成(南九州警察署川辺交番)
前田(校長) 西(教頭) 前田(事務長) 永長(教務主任)
寺田(進路指導主任) 當房(生徒指導主任) 高山(保健主任)
高橋(学校評価係)

4 内容

(1) 校長挨拶

(2) 学校概況報告

(3) 協議1

学校評価アンケートの実施内容について確認。

結果については集計後、第3回学校関係者評価委員会にて提示、協議を行う。

(4) 協議2「学校活性化(定員確保)に向けて」

PTA会員からのアンケートを参考に、各委員と意見交換を行った。

A 「ひまわりバスの利用者は何人いるか。」

校長 「今は顛娃地区の生徒が5,6人程度である。」

A 「タノカミステーションも利用者が少なく、利用者を増やしたいと考えている。タノカミステーションでの生徒の自習に利用についてはどうか。」

校長 「自習場所として利用するのは難しいと思う。ただ、ワークショップなどで利用する方法はあると思う。」

進路指導主任 「尚学舎は静かな自習室として機能しており、そういった環境が苦手な生徒は教室で学習している。タノカミステーションをバス待ちの待合所のような形で安価で利用できればよいのではないか。」

E 「先生の目が届かないなどの課題はあると思うが、カフェのような形で利用できるようになれば利用したいと考える生徒もいるのではないか。」

A 「終日1,000円のような料金形態なので、現状だと利用しづらいのではないか。」

B 「アルバイトについての状況はどうか。」

生徒指導主任 「アンケートの記載は2~3件程度であった。川辺高校の状況(普通科、進学校)としての現状も踏まえて、情報を集めたい。」

B 「近隣の学校の状況はどうか」

保健主任 「専門系の学校は許可しているが、許可制をとっている。」

B 「普通科高校はどうか。」

保健主任 「経済状況等による特例はあるが、基本的に許可していない。」

- B 「校則、制服についてはどうか。」
- 生徒指導主任 「校則について生徒に年間5回アンケートをとっているが、特に大きな意見は出ていない。」
- 校長 「制服については、大きな変更（ブレザータイプ等）を要望する意見は出ていない。下着等についても色の指定の緩和など、以前に比べてかなり緩和されている。そのためか、生徒総会においても校則に関わる要望はあまり出てこない。」
- 保健主任 「髪型や服装についても、近隣の他校に比べて早い段階で見直しを行い、緩和されている」
- 生徒指導主任 「校則に、自転車、バイク通学の生徒のマフラー禁止など、安全にかかわるものはある。」
- 校長 「現状、校則についてはある程度見直してきているが、今後も生徒会と連携し、生徒の意見を吸い上げる機会を設けるなどの活動を予定をしている。校則については、何でも許可、緩和するわけではなく、職員で協議をしながら検討を進めている。また、生徒会の活動として、現在のバス通学の状況について全校生徒へアンケートを行っており、南薩地区としての要望としていく予定である。」
- B 「近隣の学校はバイクのナンバーの下にプレートをつけているが、川辺高校はどうか。」
- 校長 「費用がかかる。」
- 保健主任 「バイクによってはプレートをつけられないものもある。」

※ 他、意見等がある場合は、いつでも学校へ連絡してもらうよう学校関係者評価委員へ伝えた。

- 5 最近の話題から 新聞記事の紹介を行った。
- 6 第3回の予定
第3回の開催は令和6年2月16日（金）15：30の予定
- 7 閉会のことば